

## 教員養成に関わる教育の質の向上に関する取り組み

### 1. 教職課程の質の向上や責任ある教職指導のための組織体制

本学の教員養成の目標を共有し、日常的に全学的な取り組みを展開するために、教育研究評議会、教授会をはじめ、教務委員会、教員養成カリキュラム委員会、教職支援委員会、学科会議などにより、教育内容・教育方法を検討し、さらなる質の向上を図っている。そして、教職教育推進センターを設置し、学生の教育実践力の向上、インターンシップ・教育実習等の運営、教員採用試験合格に向けた教職支援等を行っている（同センターについては2.にて詳述）。

また、特に教員養成に関わる全学的な委員会組織として、教員養成カリキュラム委員会と教職支援委員会を設置している。まず、教員養成カリキュラム委員会は、教務部長を委員長とし、教職教育推進センター長、教職課程を設置する各学科・コースの学科長・コース主任等、教科に関する科目および教職に関する科目の担当教員、教務課長、教職教育推進課長などで構成される。この委員会では、教職課程のカリキュラム、教育実習の計画・実施、教育委員会との連携、教職課程の教育内容・方法、教職課程の自己点検・自己評価、教職実践演習、教職課程における情報の公表等の事項について審議し実施することで、教職課程の円滑な運営とともに、教員養成教育の質的向上を図っている。

次に、教職支援委員会は、教職教育推進センター長を委員長とし、同副センター長、教職課程を設置する学部・学科の代表教員、教職教育推進課長などで構成される。この委員会の構成メンバーとなる教職支援委員は、教員採用試験に関わる学生相談、教科の指導、教員採用試験対策講座・模擬試験などの業務に日常的に関わることになる。そして、これらを踏まえながら、当委員会において、学生が教育職に就くための支援のあり方に関する検討とそのさらなる改善を図っている。

### 2. 教職教育推進センター等の取り組み

#### (1) 教職教育推進センターの取り組み

教職教育推進センターでは、主な活動として、①教員採用試験に関わる相談・支援、②教員採用試験対策講座や学内模試、教員ガイダンス等の実施、③学校インターンシップ・学校ボランティアの実施・紹介、④近隣府県・市教育委員会との連携、⑤教員として活躍する卒業生との交流の支援、⑥教員採用試験に向けた実践的指導を行っている。そして、下図に示すように、教員を目指す学生に対して、入学した1年次から一貫して、教員になるための実践的な指導および支援を実施している。



## (2) 教育学部の取り組み

教育学部の学生が、入学時から学校現場で教育活動を幅広く実習することによって教員に求められる専門的な資質・能力を培っていくために、下図に示すような4年間の『教師力』養成システムを構築している。これにより、教員を志望する学生が、教員としての自らの資質・能力の伸長とともに、「教師力」の向上を図っている。

